

巻頭 photo

高尾山の生きものたち

アカタテハ (タテハチョウ科)

秋が深まると、夏の間我々の目を楽しませてくれたチョウが姿を消していきます。なんとなく寂しさを感じますが、歳のせいでしょうか？

このアカタテハ(60mm)は10月遅くまで元氣よく飛び回って、よき写真のモデルとなりました。ありがとう。

全国の草地に生息し、幼虫は主にカラムシなどのイラクサ科の植物を食べ成虫のまま越冬します。来春の出会いが楽しみです！

今月の一句

「来春も 君の元気に 出会いたい」



(フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎)

二美ちゃん 富ちゃん 皿ちゃんの

～栓の木～ (ウコギ科)



栓の木(センノキ)を紹介します。

センは木材としての呼び名で、立木の呼び名はハリギリが一般的です。全国各地に分布する落葉の高木で、高尾でも普通に見られ、葉の形が天狗の団扇のような形をしています。

木材としての特徴は、淡黄白色の柔らかく加工性に優れた材質をしています。肌目はやや荒いが木理(もくり)は通直で均質、木目の美しさ、材面の光沢などからツキ板(化粧合板)として特に好まれ、かつては、“sen”の名で、米国に多量に輸出されたことがあり、一時は米国市場で有名な日本産材の一つとされていました。大昔はアイヌ民族の丸木船(チブ)の材料として用いました。

材質は二種類あるとされていますが分類上の違いでは無く、①若い時期に形成された材は「オニセン」と呼ばれ年輪の幅が広く、重硬で乾燥などにより狂いやすい特徴があります。また、②樹齢を重ねて形成された材は「ヌカセン」と呼ばれ年輪の幅が狭く、軽軟で加工しやすく家具用に好まれています。

センは、淡い光沢で品のある木材ですが、ケヤキ

に木目が似ていることから着色されケヤキの代用品として利用され、国内では実力よりも評価の低い材でもありました。(皿)



ハリギリの葉

ハリギリの樹幹



センの材質

丸太を上手に切りました！

～横浜市立美しが丘小学校～

9月8日に横浜市立美しが丘小学校5年生55名が、初めての試みとして、宿泊体験学習のため高尾を訪れ、1日目に高尾山登山、2日目に森林ふれあい館で森林教室を行いました。

前日の登山で疲れたのか到着時はやや疲れ気味でしたが、開校式が始まる頃には元気な声が聞こえるようになり、にぎやかな雰囲気の中、森林教室がスタートしました。当日は、午前中に森林学習と丸太切りを、午後は6班に分かれて森林観察を行いました。最初に行った森林学習では、全員が森林のはたらき等について学び、質問時間には、「高尾山で山崩れが起きたことはありますか」といった質問や「松茸はありますか？食べられるキノコは何種類ありますか？」など多くの質問が出され、職員は回答に四苦八苦していました。丸太切りでは、全員が楽しそうに2度3度と挑戦していましたが、初めて体験されるのか先生の方が喜んでいただようにも見えました。午後に行った森林観察では、初めて高尾山に来たという生徒も多く、中には登山は初めてという児童もおりちょっとびっくりしましたが、「山の空気はきれいで気持ちいい」と言った声が口々に聞かれ、約2時間の森林観察を楽しんでいました。

不安定な天候の中での森林教室開催で、森林観察終盤には小雨がぱらついたり雷の音が聞こえるようになり心配しましたが、全員がふれあい館に到着するのを待ってくれたかのように土砂降りの雨となり、児童達が雨に濡れることもなく無事森林教室を終えることができました1日でした。（谷）

楽しかった森林散策！

～都立石神井特別支援学校～

9月14日、さわやかな秋空の中、東京都立石神井特別支援学校の総勢45名の皆さんが森林教室にやってきました。

バスから降りて記念写真を済ませた後は、いよいよ森林散策です。みんな今日を楽しみにしていたらしく「気持ちいい！」「緑の葉っぱがいっぱい！」など、あちらこちらから声が聞こえてきました。途中では、沢の水を触って「冷たくて気持ちいいね！」と感想も。

林道から山中の歩道に入ると、こわごわ歩いている生徒もいましたが、鳥のさえずりや虫の声、木立を抜ける秋の風に、それぞれが楽しさを感じてくれている様子でした。

丸太切り体験では、職員や先生に手ほどきを受けつつも、最後までしっかり丸太を切ることが出来ました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、気がつくやうに閉校式となりました。生徒から「ありがとうございました」と感想も頂き、一日のカリキュラムを終了することができました。（磯）



高尾の森を満喫！



色々体験出来ました



森林教室 ～依頼イベント～

大きな声で「ヤッホー」！ ～八王子市立第三小学校～

9月21日、秋めいてきた森林ふれあい館に、八王子市立第三小学校5年生107名の子どもたちが校外宿泊学習の第1日目に訪れました。

さわやかに晴れ上がり、バスから降りてきた子どもたちは、「おはようございます。今日はよろしくをお願いします。」と元気にあいさつをしながらふれあい館の中に入ってきました。開校式の後、早速カリキュラムに入りました。人数が多い小学校であるため全体人数を半分にし、座学・丸太切り組と森林散策組に分かれ体験しました。

座学では、地球温暖化を題材としたDVDと森林の働きなどについて講義を受け、丸太切りでは慣れないノコギリの扱いに悪戦苦闘している姿も見受けられましたが、職員等の指導でコツを覚えると器用に丸太を切り、またたくまに3枚も4枚も輪切りに手にしていました。

一方、森林散策組は職員のガイドで約1時間40分のコースを歩きます。途中で樹木や植物などについて説明を行いました。時期的にカツラの落葉が始まっており、「あっ、あまいにおいがする～」と街路樹では普段気付かないにおいを感じ、レモンエゴマやクロモジのにおいをかぎ、「いいにおいがする～」などなど授業では体験できないようなことを五感で体験しました。また、山彦ポイントでは、学校では大声をだすことができないからなのか、これ以上は大きな声は出ないだろうと思えるような声で「ヤッホー～～」とグループ全員で声を合わせ、戻ってきた山彦に感動していました。

閉校式では、「丸太切りが楽しかった。」「森林散策でたくさんの植物の名前を覚えられた」など体験した楽しかった思い出が代表者から発表され、職員の見送りを受けながら今日の宿泊先へ向け出発していきました。（清）

みんなでヤッホー！

上手く切れたかな？



職場体験 ～八王子市立甲ノ原中学校～

インターナショナルな体験も！

9月5～7日の3日間、八王子市立甲ノ原中学校の2年生3名が職場体験へやってきました。

初日は森林学習と歩道の刈り払い作業です。午前中の森林学習では神妙な面持ちでのスタートでしたが、午後からの草刈りでは中学生らしい体力を見せつけてくれました。

2日目はJICA主催の研修のお手伝いです。今回はラオス人民民主共和国より6名が当センターに訪れました。午前中は講義を一緒に聴きましたが、通訳を挟んでの外国人向けの講義なので、最初は戸惑い気味の状態でしたが、次第に慣れてきたのか、研修生の質問が日本語に翻訳されるたびに「なるほど、日本のそういった部分に興味があるのか・・・」という表情でうなずいていました。午後は高尾山への登山です。道中、彼らなりの方法で国際交流を深めている様子でした。言葉は勿論、文化や生活様式が異なる外国からの研修生との交流は中学生の彼らにとって貴重な体験となったはずです。

そして3日目は間伐体験です。ヒノキを伐採して山から丸太を搬出し、汗びっしょりの最終日となりました。

3日間をとおして様々な体験をした彼らのまなざしの奥には、きっとワクワクする様な未来が見えていることでしょう。（磯）



草刈り・間伐がんばりました！





JICA 関連を受け入れ



～ラオス研修生が高尾山を視察～

9月6日、JICAの「持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト」の研修生6名が当センターを訪れました。研修生といってもラオス農林省森林局及びパイロット県の行政官の方方で、約2週間の研修日程の中で高尾山に寄られました。所長からセンターの概要・役割及びNPOやボランティア等との協働や自然体験教室などの事例等を説明し意見交換を行いました。その後、高尾山の森林についてレクチャーを受けた後、高尾山に登りました。ラオスでは何処へ行くにも車移動のため、「こんなに歩いたのは初めてだ！ 疲れた！ でも大変楽しかった」や「今後、ラオスで地域参加型の可能性を検討するため参考になりました」と言葉を頂きました。

また、職場体験として甲ノ原中学校の生徒も同行しました。(屋)

～中米統合機構（SICA）環境委員会の視察～

JICAが、中米地域の国家発展の促進を目的に中米8か国で組織されているSICAの環境委員会を9月18日～29日の間招聘しました。目的は、自然環境（森林・湿地）保全を取り込んだ我が国の知見の共有、技術協力プロジェクトの形成理解の推進などです。期間中、日本各地を視察等され、9月27日午前は林野庁を訪ねて表敬し、午後に当センターに立ち寄られたため、森林ボランティア及び森林環境教育の活動拠点である「森林ふれあい館」の目的、活動内容、実績等を高尾山の森林概要を交えながら説明を行いました。その後、高尾山の山麓駅からリフトを利用して登山、高尾山展望台からの眺望を楽しまれ、下山は日本一の急こう配のケーブルカーを体験して頂きましたが、リフトやケーブルカーを初めて体験する委員も居られ、おっかなびっくり恐怖と戦い？驚きながらも楽しまれていました。(屋)



中学生も交えて・・・



たくさん質問を受けました！



平成29年度 「つるかご編み」 一般公募イベント

1. 開催日時・場所：平成29年11月11日（土）10時～15時・高尾森林ふれあい推進センター
2. 募集人員：18歳以上の方20名（応募者多数の場合は抽選）
3. 応募締切：平成29年10月23日（月）必着
4. 申込方法：往復はがきの往信面に、①イベント名②郵便番号③住所④氏名（必ずふりがなを入れてください）⑤年齢⑥電話番号（確実に連絡がつく）、返信面にお申込者の宛名をご記入の上、高尾森林ふれあい推進センター「つるかご編み」係までご応募ください。（応募はハガキ1枚につき1名のみとします）
5. 保険料：一人あたり100円
6. 持ち物および服装：弁当、飲物、軍手をお持ち下さい。作業可能な服装でお願いします。
7. その他：雨天決行
8. 問合せ：高尾森林ふれあい推進センター（下記のとおり）

編集後記

夏も終わりを告げ、辺りはすっかり秋の装いを見せ始めた今日この頃……。高尾山周辺では年間を通じて一番の賑わいを見せる季節がやってくる。高尾森林ふれあい推進センターの森林教室にも大型観光バスに乗って、たくさんの子もたちが押し寄せてくる。五十路を過ぎた体に鞭打って頑張らねば！（機）

Forest 通信 No.344

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 050-3160-6040 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>